

## 鹿田施設マウス・ラット飼育室の照度

項目	照度 (Lux)	照度 (Lux)
<室内>		床上1m
蛍光灯の直下		671
蛍光灯の中間地点下		592
<飼育架台内>	手前	奥
最上段	68	9
第二段	173	20
第三段	159	18
第四段	109	16
第五段	48	15
第六段	73	11
最下段	51	6

5115室、2秒間隔で20秒測定した値の平均値を示す（測定日：2021年9月10日）。

○自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設マウス・ラット飼育室は、直管蛍光灯6本で照明された約50m<sup>2</sup>の箱型室である。内部に、飼育装置として（株）精研製AP型アニコンラックが10台据え付けられている（全室共通仕様）。

○実験動物の飼育はアクリル製窓をもった扉を閉めた状態で行われるので、飼育架台内部の照度測定では、この扉を閉めて測定した。

## マウス・ラット飼育室の照度解説

マウス及びラットは夜行性であり、これらの飼育室は「床上1mにおけ325ルクスの照度が飼養者の作業には十分であり、アルビノラットに対して光毒性網膜症の症状を引き起こさないレベルとされている。さらに、若齢マウスは生体よりも低い照度を好むことが知られている。」とされている。

～環境省動物愛護管理室編実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説～